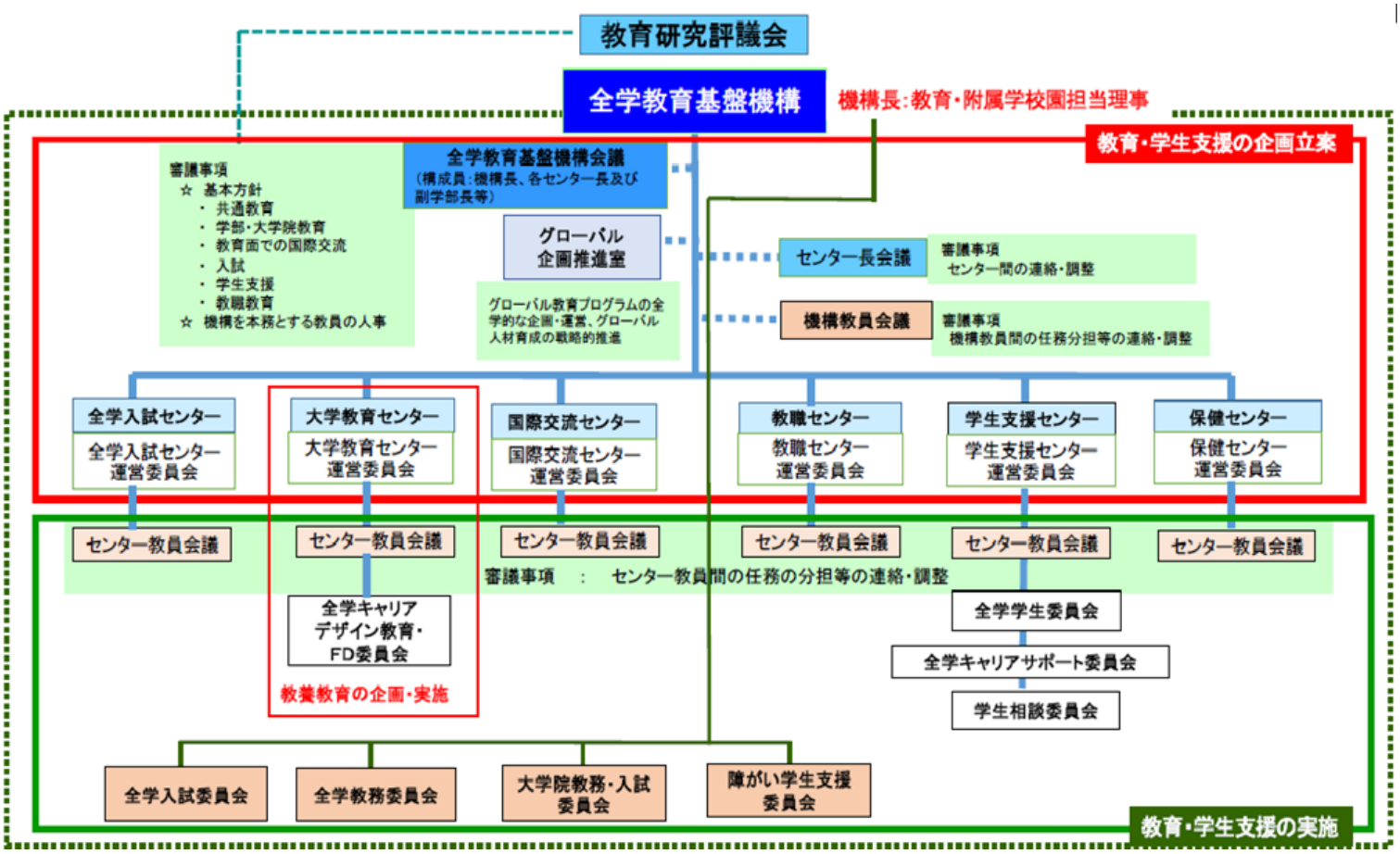
全学教育基盤機構

本機構は、学生教育や学生支援、国際交流等を担う各センターと学部・大学院の各部局とが相互に連携し、全学的な視点から学生教育にあたる体制を確立することをめざして、平成27年度から設置しました。

入学時の学力と入学後の成績の関係、大学のカリキュラムがどのような学修成果をあげているかについての分析、健康、食生活からアルバイト、課外活動に至るまで多様な生活面での課題、在学中の成績と就職後に求められる資質・能力との関係等、入口から出口までの一貫したデータに基づく入試改革、教育改革、学習支援、学生生活支援、就職支援等が今ますます求められています。これまでは各部門が連携してこのような問題に取組む体制が欠けていましたが、本機構の設置によって学生生活をトータルに見通した学生教育にあたります。

また教育の国際化への対応も今回の機構設置の大きな要因です。平成27年度からは、本学の教育面での国際戦略の中核となるアジアブリッジプログラムが開始され、学士・修士の双方でアジア各国から留学生を迎え、またこれに合わせて英語によって提供される授業の範囲も拡大します。このようななかで、日本人学生に対する教育と留学生教育、海外への学生派遣と海外からの学生受入れは生活面での支援や就職支援等も含めて相互に関連する場面がますます多くなることが予想されます。この点でも、各センター、部局が情報を共有し、一体的な体制でのぞむことが求められおり、本機構のなかに「グローバル企画推進室」をおいて、これらの業務を統括することにしています。

（全学教育基盤機構の業務）
・学部及び大学院の教育等を一貫して展望し、入学前から卒業・修了後までのデータ分析に基づいて、教育等に関する基本方針を全学的観点から検討し、全学的な合意を図る。
・全学的な合意を得た教育等の方針に基づいて、教育等を展開し、総括する。
・本学における教育等に係る主要施策を、教育等の方針に基づいて企画・立案する。



静岡大学全学教育基盤機構規則
静岡大学全学教育基盤機構会議規則
グローバル企画推進室 静 浜
大学教育センター 静 浜
学生支援センター 静
全学入試センター 静 浜
国際交流センター 静 浜
教職センター 静
保健センター 静 浜